

9 TOWNS TOPICS

9つのまちのホットな話題をお届けします

豊里



市内外10の神社へしめ縄奉納

二ツ屋地区の老人クラブ「^{らくじゅかい}禄寿会」(及川英一^{ひでかず}会長)の皆さんが、戦後から続く毎年恒例の「しめ縄づくり」に精を出しました。
 地元農家が作付けした餅米「みやこがね」のわらを使い、ごぼうじめや玄関用、本殿・鳥居用など13種類のしめ縄約3千本が作られました。本殿・鳥居用のしめ縄は、津山町の柳津虚空蔵尊や迫町の羽黒神社など、市内外10の神社へ奉納されました。

5組の出演者が歌や太鼓披露

「第11回なかつやまコンサート」(中津山コミュニティ運営協議会、久保泰宏^{やすひろ}会長)は12月4日、中津山公民館で開かれ、同地区の住民が参加しました。
 コンサートには、地区の子どもからお年寄りまでの約150人が参加し、久しぶりの集会イベントを楽しみました。5組の出演者が歌や合唱、バンドや太鼓などを披露し、最後は会場にいる観客と出演者全員で「上を向いて歩こう」を合唱し、盛況のうちに終了しました。



米山

迫



美しい歌声と朗読で聴衆魅了

新田中学校(櫻井直人^{なおと}校長、生徒65人)の「歓喜に寄す」を歌う会は12月10日、同校の屋外で開かれ訪れた聴衆を魅了しました。
 歌う会は「歓喜の歌」「登米市市民歌」「ふるさと」などを合唱、生徒の美しい歌声と会場のイルミネーションが相まって幻想的な会となりました。合唱の間には、生徒代表が「ベートーベンと第九」「歓喜に寄す」を朗読。歌い終えた生徒に会場から大きな拍手が送られました。

石越



ページェントで公民館を彩る

「いしごし光のページェント」(石越コミュニティ運営協議会主催、菅原健一^{けんいち}会長)は、12月24日から1月10日まで実施され、石越公民館がイルミネーションで彩られました。
 24日の点灯式では約100人の観覧者が集まり、点灯に合わせた市消防団ラッパ分団の演奏や、観覧者用に用意されたクラッカーを鳴らし、点灯式を楽しみました。菅原会長は観覧者に「このイベントを多くの人にお知らせしていただき、大いに盛り上げてもらいたい」と話しました。

妊婦疑似体験から子育て理解

「明日の親となる中学生の子育て理解講座」は11月24日、南方農村環境改善センターで開かれ、南方中学校(千葉洋之^{ひろゆき}校長、生徒210人)の3年69人が参加しました。
 この講座では、「命」「家族」「子育て」などについて学び、ベビー人形を抱っこしたり、妊婦ジャケットを着て妊婦の疑似体験をしたりしました。今回はコロナ対策のため実際の赤ちゃんを抱っこすることはできませんでしたが、生徒らは真剣に取り組み、子育ての大変さを実感していました。



南方

東和



働くことに理解を深め考える

2008年から続いている東和中学校(千葉純子^{じゅんこ}校長、生徒117人)の「キャリアセミナー」が11月26日、同中学校で実施されました。
 同セミナーは、生徒が希望する市内の職業人から、働くことについて教わる講座。多職種の講師十数人から働く楽しさや大変さ、仕事をする上で大切なことなどを学びました。接する機会が無い業種や講師の経験談などを聞き、働くことに対する理解を深めました。

津山



元気な声援で餅つきし鏡餅に

12月14日、つやま杉の子こども園(勝倉葉子^{ようこ}園長、園児38人)で4、5歳児18人が臼ときねを使い、昔ながらの餅つきを楽しみました。同行事は昨年、新型コロナウイルスの影響で中止となり今年が2年ぶりの実施となりました。
 園児らは、餅に関する紙芝居を楽しんだ後、先生たちが見守る中交代で餅つきに挑戦。きねで餅をつくたびに「よいしょ、よいしょ」という元気な声援が響き渡りました。園児みんなで一生懸命ついた餅は、鏡餅にして飾りました。

婦人防火クラブの役割を学ぶ

「登米市中田支部婦人防火クラブ大会」(同クラブ主催、佐藤千賀子^{ちかこ}支部長)は12月5日、中田総合体育館で開かれ、各地区の婦人防火クラブ員149人が参加しました。
 同大会は、家庭における火災予防知識の習得や地域における防火意識の高揚を図ることを目的に毎年開催しています。防災塾Q & A代表の戸田和夫^{かずお}さんを講師に迎え、婦人防火クラブの役割などの講話に、参加者らは熱心に耳を傾けていました。

中田

